

# 47-046 ハイネックス原液 栽培試験



1301 100 Ⅰ口- 0219



1305 100 Ⅰ口- 0319



1309 100 Ⅰ口- 0416



1401 250 Ⅰ口- 0219



1405 250 Ⅰ口- 0319



1409 250 Ⅰ口- 0416



1501 500 Ⅰ口- 0219



1505 500 Ⅰ口- 0319



1509 500 Ⅰ口- 0416



1601 1000 Ⅰ口- 0219



1605 1000 Ⅰ口- 0319



1609 1000 Ⅰ口- 0416



1701 2000 Ⅰ口- 0219



1705 2000 Ⅰ口- 0319



1709 2000 Ⅰ口- 0416



1801 無施肥区 0219



1805 無施肥区 Ⅰ口- 0319



1809 無施肥区 Ⅰ口- 0416

# 55-006 施肥による肥効確認試験 (2015/3/25~8/26)



0201 原液 x500 毎週 150325



0203 原液 x500 毎週 150422



0205 原液 x500 毎週 150522



0206 原液 x500 毎週 150617



0207 原液 x500 毎週 150721



0208 原液 x500 毎週 150806



0209 原液 x500 毎週 150826



0401 P12-12-12 3錠 毎月 150320



0403 P12-12-12 3錠 毎月 150420



0405 P12-12-12 3錠 毎月 150520



0406 P12-12-12 3錠 毎月 150610



0407 P12-12-12 3錠 毎月 150720



0408 P12-12-12 3錠 毎月 150800



0409 P12-12-12 3錠 毎月 150826



0601 無施肥区 150325



0603 無施肥区 150422



0605 無施肥区 150522



0606 無施肥区 150617



0607 無施肥区 150721



0608 無施肥区 150806



0609 無施肥区 150826



## 植物を育てる楽しさをサポートする ハイポネックス原液

2012年に創立50周年を迎えたハイポネックスジャパン。『ガーデニング』という言葉が今ほど言われていなかった時代に誕生し、日本の家庭園芸の普及とともに歩んできました。その後、やってきたガーデニングブームを支え、誰でも手軽に花や緑を身近で育て楽しむライフスタイルを広めてきた背景に、今回ご紹介する「ハイポネックス原液」の活躍がありました。「ハイポネックス原液」がプロ園芸家から一般へ急速に普及したヒミツは、肥料を従来の肥料から、使いやすく速効性のある液体状へと進化させた「液肥」の開発でした。その開発秘話と今日までの圧倒的なシェア、売れ続ける理由を紹介します。

## ヒット商品 ハイポネックス原液

支持される商品の魅力を探る!



ガーデニング好きの人は誰でも知っている「ハイポネックス原液」の誕生から、開発の歴史、売れ続けてきたヒミツを探ります。

**GREAT HITS!**

キャップと計量カップが一体化。計量が手軽にできるようになった、ピギナーにも優しいボトル設計です。

### check 03 進化し続ける ハイポネックス原液 生育実験

花つきを良くし、花や葉の色を鮮やかにします。



ハイポネックス原液 他社液肥

根の生育を良くし、健全で丈夫な株に育てます。



ハイポネックス原液 原液ハイポネックス (旧配合)

### report A 商品の特性をチェック!

#### check 01 効果が実感できる成分配合に!

ベランダや屋外から室内、鉢ものから花壇、さらに家庭菜園まで…と育てる環境や植物の幅広さに対応する成分配合がカギ。チッソ・リンサン・カリの三要素比を6:10:5と、チッソ比を高め、微量元素やカルシウムなど栄養素を配合し、肥料効果がより実感できる構成になっています。



#### check 02 植物に必要な栄養素を強化!

植物の活力を増す微量元素、ビタミン、カルシウムを増量してあります。微量元素は用土の種類にかかわらず効果を発揮。根の生育がグンと良くなるビタミン、丈夫な株に育てるカルシウムも増量。

500倍希釈濃度の試験栽培

### MONO DATA

#### ハイポネックス原液

内容量 160ml 450ml 800ml

発売 1978年

#### 50%を超えるシェア

液体肥料の代名詞とも言われている「ハイポネックス原液」は、発売以来常に液肥分野で50%を超えるシェアを保っています。

### report D 『ハイポネックス』の歴史をたどる!

- 1962 「微粉ハイポネックス」の輸入販売を開始。実はこの商品、50年以上経った今もホームセンターの売場に並ぶ「原液」以上のロングセラーなんです。
- 1978 日本のガーデニング事情に合わせた「原液ハイポネックス」を開発・販売。水で500~1000倍に薄めて使うという画期的な液肥は、高い効果と使いやすさで大ヒット商品に。
- 1983 社名を(株)ハイポネックスジャパンに改称。ちなみにそれまでは丸和化学(株)という会社名でした。
- 1990 大阪で開催された「花の万博EXPO '90」に出展した大花時計が大好評。この花博以降、日本のガーデニングブームに火がつき売上もさらに大きく伸びていきました。
- 2002 市場ニーズの変化に合わせて3要素の比率を「6-10-5」に変えるなどリニューアル。実はこのとき商品名も「原液ハイポネックス」→「ハイポネックス原液」に進化。



### COLUMN

#### ハイポネックス豆知識

##### 一番人気は大ボトル!

ハイポネックス原液で一番の売れ筋は、800mlの大ボトル。「以前は450mlが多かったのですが、一軒あたりの鉢数が増えたせいか現在は800mlが圧倒的に売れています」。食品のように有効期限はなく、キャップをしっかり閉めて保管場所にさえ気をつけておけばいつでも使えるのも大ボトル人気の理由?

##### 15種類の栄養素をバランスよく配合!

植物の健全な生育には「3要素(チッソ、リンサン、カリ)」の他、マグネシウムやカルシウムなどの「2次要素」、さらに鉄をはじめとした「微量元素」も不可欠。ハイポネックス原液にはこれらを含め15種類もの栄養素が最適なバランスで配合されています。



「日本のガーデニングのために生まれ、今も進化を続けています。」ハイポネックス原液が生まれたのは1978年。「創業時から当社は「微粉ハイポネックス」という粉末肥料を輸入販売していましたが、日本の土壌によりマッチした肥料を作ろうと研究を重ね、独自の成分配合による液体肥料を開発したので」

「大きな商品改良はその1回だけですが、原材料や配合方法など細かな部分ではつねに研究・改善を続けています。これからは多様化する園芸ニーズに応えられるよう、さらに進化をめざしていきます」

### report B 開発担当者に聞く



つまりハイポネックス原液は、日本オリジナルの商品なのです。「日本で肥料として売られるには農水省の認可が必要ですが、当時は家庭用液肥というジャンルそのものが無く、法律の改正が必要でした」と、バイオニアならではの苦勞も。発売後は、その優れた効果と扱いやすさでまたたく間に人気商品となり、液体肥料の代名詞に。2002年には3要素(チッソ・リンサン・カリ)の割合を「5・10・5」から「6・10・5」に変え、さらに新たな栄養成分も配合して効果を高めました。

### report C 研究開発センターを見学!

(兵庫県赤穂郡上郡町) 2005年に開設した「研究開発センター」は新商品の研究・試作から試験栽培、品質検査など、隣接する上郡工場と連携した総合的な研究開発を進めています。



センター内の研究温室では、成分の違いや薄め方の違いなど色々な角度で栽培試験を行っています。



微妙な成分の違いで効果が大きく変わるのが肥料。無数の選択肢の中から最適な配合を追求し続けています。



2013年に発売した活力液「リキダスアンブル」の効果を比較試験でチェック。元気に生長しているのを確認して大満足。



花や葉の育ち方はもちろん、土中の根の張り具合などもしっかり調べます。